

防災会からのお知らせ



多発 ~ 日常生活の中で救急事故 ~

身の回りで起きやすい事故は、普段のチョットした注意でかなり防止することができます。乳児や小児、高齢者の方には、次のような点に注意し事故の未然防止を図りましょう。

1. 転倒、転落防止

家庭内での転倒事故を履物について発生率をみると、スリッパやサンダルを履いていたという場合が多く、また体調や精神面での発生率は「慌てていたり考え事をしていた」ときも「いつもどおりの体調」のときも、ほぼ同じで、日常的に発生する危険性は潜在しています。乳児・小児、高齢者がいる家では、床面の高低差、障害物を除去するなど、救急事故を未然に防止するための環境を作り、これらの方の行動には絶えず注意し、いつでも援助の手が差しのべられるようにしましょう。



2. 異物誤飲

異物誤飲の原因は多種多様で、あらゆる物が異物誤飲につながるおそれがあります。食事時には余裕を持って、慌てないで食事をする習慣を身につけることも大切です。子どもは何でも口の中に入れる行動をとるので、誤って飲み込みやすいと思われる物は、手の届く所には置かないよう注意しましょう。

3. 入浴事故

入浴事故は、死亡に至る率が極めて高く、浴槽の深い日本独特の救急事故であるともいわれています。子どもだけや体の弱い高齢者だけでの入浴は避けましょう。入浴に係わる事故は、健康な人でも起こりうる可能性があり、人の目が行き届かない家庭内で多く発生しています。小さな子どもは深さ10cmくらいでも溺れてしまうことがあります。入浴中は付近にいる人がときどき声をかけたりして注意することが大切です。



4. 薬物中毒

必要な薬は常に整理し、子どもの手の届く所には置かないように心がけましょう。薬は混合せず、ラベル等を剥がさないようにしましょう。中に入っていた薬の判断ができなくなります。



多くの方にグリーンシティあんしん情報登録制度「あんしんカード」に登録をいただき、ありがとうございました。随時登録を受け付けますので、まだ登録していない方は管理事務所まで申し出て下さい。